



5年2月14日

南相馬市議会議長

会派名 無会派 (公明党南相馬市議員団)
代表者氏名 志賀稔宗

調査研究報告書

- 1 期間 5年2月1日(水) ~ 5年2月2日(木)
- 2 参加者 ① 志賀稔宗 ② _____
③ _____ ④ _____
⑤ _____ ⑥ _____
- 3 旅行先及び調査研究内容 別紙のとおり

調査研究内容

月日	5年2月1日(水)～5年2月2日(木)
旅行先	衆議院第一議員会館、復興庁、国土交通省、JR水戸支社
調査研究事項	各種制度内容、要望活動。
〔内容〕	
<p>総務省及び農村水産省、文部科学省</p> <p>「特定地域づくり事業協同組合制度について」 地域内外の若者を地域づくり人材として雇用することにより 農村地域が必要とする人材を確保する。もって農村の振興に つなげるものである。 本市においても若い世代の人口減少により人手不足が顕著で あり、この事業の活用は極めて有効と感した。 積極的に導入も図ってまいりたい。</p> <p>「県泊推進対策」について COVID禍において観光需要が停滞する中、農山漁村の多様な 観光資源を活用したコンテンツの質の向上の方向性について 県視連携の一環として観光事業者の連携を強化する 研究会が周催された。今後コンテンツの充実、ストーリー性 や物販、アトベンチャー等の個人旅行に対する支援が 必要である。本市においても積極的に推進すべきと思慮される。</p> <p>「中高一貫教育制度について」 中学校と高等学校の6年制を接続することにより、計画的 継続的な教育課程を展開することにより、生徒の個性や創造性を 伸ばすこととなる。本市はイノベーションによる人材育成の観点から 英才教育その他を伸ばす観点からも有効であり、ことから前向きに 検討するべきと考える。</p> <p>JR常磐線特急列車の増便をほめる利便性向上につき要望活動とした 復興副大臣 竹谷とし子様、国土交通大臣 斎藤鉄夫様(国会総務部の秘書)、 水戸支社長 小川一路様(総務課長及び企画課長)、参議員若松謙維様、 第2期復興創生期間の支援、医療費・健康への支援、高速道無料化支援等 についても復興副大臣他に要望した。</p>	